

## 2016年9月25日(日) キッズリーダー講習会 in 常磐大学高等学校(水戸)

9月25日(日)に常磐大学高等学校でキッズリーダー講習会を開催いたしました。11月3日(木・祝日)に水戸ケーズデンキスタジアムで開催予定の「キッズフェスティバル」に常磐大学高等学校サッカー部のみなさんにご協力いただくこととなり、その事前研修としてこのキッズリーダー講習会を受講していただくこととなりました。

受講生は、同校サッカー部の部員23名と大人1名(ホーリーホックのスタッフ1名)の合計24名。昨年も同校でキッズリーダー講習会を実施しているため、今回の受講生は昨年受講できなかった2年生と新1年生です。

まずは、同校のグラウンドにて実技をおこない、その後教室に移動し講義を行いました。

実技では、11月3日の「キッズフェスティバル」にて実施予定のメニューを2人組でおこない、順番にコーチ役と子ども役を体験してもらいました。最初は恥ずかしがる選手が多かったですが、途中からは子ども役を演じることを楽しむ選手も多数現れ、終始和やかな雰囲気を実技を実施することができました。

講義では、通常の子供リーダーの講習会内容に加え、子どもたちがサッカーをはじめとするスポーツを好きになってくれるかどうかは、幼少期に出会うコーチの影響が大きいことをお伝えしました。そして、11月3日のイベントに参加する多くの子どもたちにとって彼ら(=常磐大学高等学校サッカー部のみなさん)が「人生で初めて出会うサッカーコーチ」になることを指摘したところ、多くの参加者がその責任の重さをしっかりと感じてくれていたようでした。

### 【参加者コメント】

- 保育園の頃からサッカーをやっていて、何となく小さい子の気持ちを知っていた上で受けて、納得できることが多くて、コーチをするのに少し自信があるので、楽しみです。
- 子どもについて今回のキッズリーダー講習会を通して、よくわかり、学ぶことができました。子どもの視線を合わせることの大切さ、子どもの表現をさせるために会話をするなどがあり、盛り上げるのも大切だと感じました。
- 小さい子にサッカーを教えることは少し難しいと思った。小さい子が楽しんでできるように自分で楽しんでやってもらえるようなことを考えたい。
- 今まで忘れていた小さい頃のサッカーへの気持ちを考え直させていただきました。今回の講習をきっかけに6才以下の子どもたちに指導をするときは良い指導ができるようにしたいです。
- 指導者として、小さい子にサッカーを教えるにあたって大切なことがあることがよくわかりました。小さい子の気持ちを大事にしていきたいです。
- いつも選手として活動しているけど、今回は指導者として子どもにサッカーを教えるということで、難しさもあるけど、ちゃんと楽しさを伝えたいと思う。

## キッズリーダー講師 茨城県サッカー協会キッズ委員会 村松尚登

同講習会に対する深い理解を示してくださっている常磐大高等学校サッカー部顧問の竹本先生のご協力と共に、昨年につき2度目のキッズリーダー講習会を同校で実施することができました。竹本先生、ご協力ありがとうございました。

必ずしも指導者という仕事に興味を持っている選手ばかりではないことを予想し、講習会が始める際に「指導者としての勉強だけど、間違いなく選手として成長するためにも活きる内容です」という部分を選手たちに強く訴え、彼らのモチベーションを高めるよう努力しました。その効果もあってか、選手たちはとても積極的に取り組んでくれました。また、実技では見事に“子ども役”を演じる選手や、“優しいお兄さんコーチ”を演じる選手が多々おり、それらの設定を楽しんでくれている姿がとても印象に残っています。

同講習会での学びを活かし、11月3日のキッズフェスティバルにおいて彼らのやる気を上手く引き出し、キッズたちとの暖かい交流を上手くコーディネートできるよう我々スタッフも頑張ろうと思います。

